

鈴木議員は「増える5億円は、どこから持ってこようと考えているのか？」と質問。市はまともに答えることができませんでした。

結局、巨額の工事費は、福祉・教育・子育て支援などを削るか、「増税」をして捻出するしかありません。少子・高齢化がすすみ、くらしが大変な市民が増えるもと、いずれも無理な話です。

お金がかかりすぎる「区画整理」方式によるまちづくりは、市民全体のくらしをも破壊することにつながります。

< 環境への悪影響・膨大なごみ排出 —— まったく考慮せず >

もうひとつ、鈴木議員がとりあげたのは、環境とごみの問題です。

地球温暖化を防ぐことは、人類にとって最優先の課題の一つであることが明確になってきました。これからは、あらゆる事業をおこなう際に、環境への負荷がどうなるのかをしっかりと予測し、過剰なCO₂の排出を抑えることが必要になっています。

鈴木議員は「区画整理事業にともない、CO₂の排出はどの程度なされると見積もっているのか？」と質問。市の答えは「CO₂の排出量について、予測調査はおこなっておりません」というものでした。

また、ごみの排出についても市は「見積もっていない」と答弁。アスファルトをはがす、下水管を掘り起こす、多くの家屋がとりこわされる等々、膨大なごみが排出されることが予想されます。

東京都が4月に示した「建設リサイクルガイドライン」という文書では、「建築物や工作物の長期使用に努める」ことが大事だと指摘されています。使えるものは長く使う。その当たり前のことが今こそ大切になっています。

西口区画整理は、環境への影響とごみの排出抑制という観点からも、大きな問題を抱えています。

市民からは「区画整理方式でなく、現状を生かした修復型まちづくりを」との声があがっています。市はこの声に真摯に耳をかたむけ、あらゆる点から現実的でない「西口区画整理事業」を大本からみなおすことが必要ではないでしょうか。



西口の駅前の整備が進められています。

市民の声



「駅前と必要なところだけの整備で十分なんじゃないの？」
とみんな言っているよ！

無料法律相談のお知らせ

7月8日(火)午後1時30分からです。
事前に予約が必要です。お気軽にご連絡ください。

- ・中原まさゆき 554-1163
- ・市川英子 554-1140
- ・鈴木たくや 080-1058-9450